

Click Here to upgrade to
Unlimited Pages and Expanded Features

生ホットライン

ニュースレター

No.20

2012年4月発行

目次

代表からの挨拶	P1
顧問からのメッセージ	P2
留学生ホットラインについて	P2
コミュニティの皆様へ	P3
2011年度ドナーリスト	P3
2011年度会計総決算報告	P4
2011年度インテイク統計	P4
コーディネイター・メッセージ	P5
2012年度リトリート	P5
ボランティア・トレーニング	P6
ボランティア募集	P6
新人ボランティアからの一言	P7



Facebook @留学生ホットライン



Twitter @ryugakuLA

代表からの挨拶

昨年 2011 年は日本にとっては喜ばしくないニュースが相次ぎ、3月11日の東北大震災もまもなく一年が過ぎようとしています。留学して来ていた方々の中にも、日本にいたご家族が被害に遭われた為に、留学を途中で断念し日本にお帰りになった学生さんもいらっしゃったようです。ここに改めて、被害に遭われた皆様には心よりお見舞い申し上げます。

当留学生ホットラインも昨年 20 周年を迎えさせていただきましたが、ボランティア有志だけで運営されているこの団体が、20 年間も続けて来られましたのも、先輩諸氏の方々の努力と、沢山の皆さまの暖かいご支援とご協力のおかげと心より感謝いたしております。

然し、年数がある割にはまだまだ学生さんの間では知名度が低く、電話を頂いた学生さんの中には、こんな素晴らしい情報をくれる所があったなんて知らなかった。もっと早く知っていればよかった。と云ってくださる人が昨年は何人もいました。広報の必要性を強く感じています。

内部では、長年続いているだけと言う事ではなく、留学生の皆さんから、どんな問題を頂いても適切なアドバイスや処置が出来るよう、再教育やボランティア間のコミュニケーションの強化を図り、もっともっと中身の濃い充実した団体に行けるよう努力して行きたいと思っています。皆様どうぞよろしくお願い致します。

春のボランティア新メンバーのトレーニングも行われる予定になっています。ひとのお役に立ちたいと思っている人が皆様の周りにいましたら、お電話下さい。お待ちしております。

和田容生子

[Click Here to upgrade to
Unlimited Pages and Expanded Features](#)

留学生ホットラインをご支援して下さる皆さま

RHLと云えば皆さんのこと、意気軒昂としていると声高らかにご報告したいのですが、ご存知のような事情でそうも行きません。食料の高騰に備えなくちゃなりませんし、自然災害は激化するばかり、財政の破綻と福祉の崩壊は目の前に迫ってます。直近の一番深刻な問題は、何を信頼して良いのかが分からないことです。仕方が無いので自分の住んでいる日本のことは、英国の Economist 誌と Financial Times 誌に頼るしかないのです。何たることかと自分でも思いますが、その様な国創りをした責任のある年齢の人間として逃げ隠れは出来ません。まず現在自分は何をしているかをご報告し、もし、次の機会が与えられましたら Part2 をお送りします。下記のご案内をご覧ください。

まずなんと申しましてもちろこの考えを堂々と国際の検舞台でも発言して理解してもらえる日本の方を一人でも多く創りたいと思ってます。題して” Speech Dynamics への道”・・・聞く人に分かって頂けるように英語で話が出る我々の願いを実現したいと思います。指導者はアメリカ・ミネアポリスで活躍の Lori Grever さん、3月26日(月)～4月1日(月)訪日され、皆さまとのお話合い、模擬講座、半日、一日の講習を行われ、人前で英語で話す為の「常識」を理解し、聞く人に興味と関心を持って戴く「話し方」を身につけることを提案されました。＜別紙参照＞

主役の Lori Grever さんを RHL でお招き戴きお話しをお聞き戴ければ嬉しいです

木内 孝

留学生ホットラインについて



留学生の抱える様々な問題を案じたコミュニティーの有志により、1991年に米国カリフォルニア州ロサンゼルスに発足した留学生ホットラインは、地域の非営利社会福祉団体、リトル東京サービスセンター及び在ロスアンゼルス日本国総領事館、その他コミュニティーの諸団体や個人からの支援を得て、留学生からの相談に対して情報照会を提供する非営利の団体です。発足以来ビザの問題や精神衛生、ハウジングでのトラブル、事故や犯罪関係のトラブルなど1万5千件以上の電話に対応して来ました。2008年にはその功績が認められ日本政府より外務大臣表彰を授与されました。財源は様々な個人、団体からお預かりした寄付によりボランティアによって運営されています。

[Click Here to upgrade to
Unlimited Pages and Expanded Features](#)

う様々な問題に対応する為、留学生ホットラインが発足の抱える2万件近い問題を扱って来ました。しかしここ10年来、日本人留学生の減少に伴い電話件数も減少しており、実のところ時には、当団体の必要性が話し合われることもあります。

しかし、件数が減っても、ホットラインというサービスを利用してくれる人、役に立ててくれる人がいて、彼らの役に立ちたいというボランティア達がいる間は、この活動を続けていきたいと思っています。

また、東日本大震災の後は、親元からの経済的支援を失ったり、帰る家を失くした留学生からの深刻な相談も多く、精神的・経済的に深刻なダメージを受けている彼らの生の声を直接聞く機関の必要性をあらためて感じました。

減少しているとは言っても現実には、ロサンゼルスだけでも1万人以上、全米では4~5万人の日本人留学生がいると言われていています。しかし、彼ら学生の大多数は、次々と入れ替わり、留学生ホットライン自体を知らないという問題があります。もっともっと宣伝して知ってもらわなければいけないのですが人的にも経済的にも限りある状態です。

そこで、あなたがもしも留学生ホットラインの活動を必要だと思って下さるならば、是非、ご寄付やボランティア活動によって留学生をサポートして下さることをお願いしたいのです。

ご寄付は同封の返信用封筒で”Ryugakusei Hotline”宛のチェックを郵送して下さいますようお願い致します。



皆様のご支援、何卒よろしくお願い致します。

ボランティア一同



2011年度ドナーリスト

<個人>

Mitsuko Cude

Akiko Mimura Lazare

Kazuo Mitsui

Keiko M. Russel

Margaret T. Narumi

Shinichi Tanaka

Reiko Zaiser

<企業>

Mutual Trading Co. Inc.

Nevada UST Corporation

<その他>

Consulate General of Japan, Los Angeles

郵送によるご寄付

チェックのあて先:

Ryugakusei Hotline

郵送先:

Ryugakusei Hotline

231 E. 3rd St., Suite G-106

Los Angeles, CA 90013

* その他の方法によるご寄付についてはお電話でご相談下さい。

留学生ホットライン

(213) 473-1630

月~金 10時~5時

ありがとうございました。ボランティア一同、心より感謝申し上げます。

Click Here to upgrade to
Unlimited Pages and Expanded Features

2011 年度総収入	3,757.22
2011 年度総支出	7,564.11
2011 年度末収支	- 3,806.89

総収入

総支出

総収入		総支出	
ファンドレイジング	929.00	(A)オフィスレント費用小計	5,150.00
団体・個人ドネーション	2,750.00	(B)オフィス備品費用小計	1,350.13
銀行利子+アジャストメント	78.22	オフィスサプライ	894.06
		コンピューター	456.07
		(C)イベント費用小計	657.85
		お正月 in リトル東京出店	446.36
		リトリート	30.00
		トレーニングセミナー	181.49
		(D)その他費用小計	406.13
		広告費	406.13
合計	3,757.22	(A)+(B)+(C)+(D) 合計	7,564.11

2011年度 インテイク統計

<性別/曜日別>

件数	性別			曜日				
	男	女	不明	月	火	水	木	金
214	64	148	2	47	50	39	25	55

<内容別>

ビザ	学校	交通	住居	健康	犯罪	生活	その他
92	44	24	16	13	7	31	15

<月別>

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
21	17	17	23	14	24	24	18	13	11	10	22	214

[Click Here to upgrade to
Unlimited Pages and Expanded Features](#)



留学生ホットラインは今年で22年目を迎えます。21年間の実績を尊重しながらも、時代の変化も受け入れ、現在のニーズ、正確な知識をアップデートさせ、常に正しい情報を提供出来るように努力を重ねていく心構えでおります。

また今年は、サービスの充実に加え、コール件数の増加、新規ボランティアの確保、運営資金の調達など多くの課題を抱え、スタッフ一同全力で走り抜く意気込みです。2012年より、ボランティアコーディネーターに新人のHiromiとRumikoが加わりました。ボランティア同士が何でも話し合い、お互いに協力し合える家族のような愛情溢れる環境作りが出来るように頑張ります。

今後とも皆様のご支援、ご指導を宜しくお願い致します。

ボランティアコーディネーター T.T.・Hiromi・Rumiko

2012年度リトリート

10月22日、情報やサービスについての勉強会とは別にリラックスした雰囲気の中、ボランティアをすることの目的や人の話を聞く事の意味を見つめなおすことによって、初心・原点に戻るため、リトリートの機会を持ちました。今回は6名の留学生を中心としたゲストを招いて懇談会を行い留学生の状況などについて話し合った後、「もしドラ」（日本でベストセラーとなった小説「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら」）を参考にボランティアのモチベーションについてディスカッションしました。

サービス向上に繋がることを期待します。

T.T.



Click Here to upgrade to
Unlimited Pages and Expanded Features

4月16日から6月3日まで約2ヶ月間にわたって新規ボランティアのためのトレーニングが行われました。ソーシャルワーカー、セラピスト、弁護士等の専門家による22時間の講習、ロールプレイと12時間の実習からなるトレーニングを5名が修了しました。

5名共ボランティアとして、現在活躍しています。

T. T.

< トレーニング講習内容 >

4月16日	オリエンテーション、ボランティアの責任について
	留学生関連の基礎知識 ①学校関係
	異文化の理解
	情報照会について
	留学生の基礎知識 ②ビザ関係
4月23日	リスナーの基本と姿勢
	ドメスティックバイオレンス
	ビザについて
4月30日	犯罪交通関係
	精神衛生
5月7日	日常の法律について
	インテイク、リファーラル等について

留学生ホットラインでは、ボランティアを募集しています！

業務：リスナー（電話相談員）— トレーニング有り

- ・ 日本語で電話対応のできる方。
- ・ 毎週4時間以上、リトル東京のオフィスで電話を取れる方。
- ・ 一定期間（6ヶ月以上）続けられる方。
- ・ 責任を持ってボランティアが出来る方。
- ・ 所定のトレーニングを受けられる方。

2012年は

6月より

トレーニング開始！！

詳細：(213) 473-1630

<http://ryugakusei.ltsc.org>

[Click Here to upgrade to
Unlimited Pages and Expanded Features](#)

各専門の講習トレーニングを受講し、先輩スタッフの方との半年間の研修期間も終え、今年から一人立ちさせて頂きました。志願した当初は日本で未曾有の大震災もあり、遠くに暮らしてる私達が母国の為に出来る事が少しでもあれば。との思いでした。（直接的には関係のないように思えますが、とにかく日本人の為に何かしたかったのです）しかしながら、研修が始まってみると、留学経験の無い私は教わることばかりで、とてもヘルプ出来る立場に無いことを知り自分の甘さを多めに反省致しました。ですが、未熟な私でも何か出来る事はあるはず！と本日まで挫折せずに頑張っております。今後は、尚一層の知識を習得し、愛を持って留学生の皆様に必要な情報をお伝えしていきたいと思っております。

Rumiko

2011年3月11日、東北で起きた未曾有の大震災。混沌とした不安と悲しみの中、多数の海外在住日本人は思ったことではないでしょうか、「私にも、何かここからできることはないか？」と。留学生ホットラインのボランティア募集が目飛び込んで来た時、かつての留学生時代を思い出し、「ここで、何か私にもできることがあるかもしれない。」と、ボランティア研修の門を叩いた私も、その一人でした。研修は、様々な分野の専門家の先生方が、貴重なご自分の時間を割いて、根気よくご指導くださいました。基礎知識から始まり、実際のカウンセリングへの応用トレーニングまでと、充実した内容で、大変勉強になりました。この研修で学んだことを、なんとか留学生の方々との相談に対して生かすことができるよう、日々切磋琢磨していきたいと思っております。

Hiromi

早いもので、緊張でドキドキだった研修の頃を振り返ると、もう1年になろうとしています。当初は、東北大震災の直後でしたので、「自分に出来ることで誰かの役に立ちたい」という思いでいっぱいでした。研修受講の時間確保の為に、多少無理もしていました。こうして「毎週 Casa Heiwaに通ってくるのが当たり前」と思えるようになることが出来たのは、気兼ねなく話し合える新人仲間のみならず、私の数々の質問に根気よく付き合ってくださっている先輩リスナー諸氏のおかげです。「この感謝の気持ちはコーラーさん達にお返ししよう」と思いながら、電話の前に座っています。

Mari

ボランティアを始めるきっかけとなった3月11日がやってきます。否が応でも心は引き締められる気がします。今年に入り帰国を含め私事に忙しくシフトに迷惑かけています。いまだに分からないことだらけで一人オフィスで凹むことも、、、。それでも心広き先輩ボランティアの諸氏元気いっぱいの同期ボランティアの仲間にあたりに会ってお話するとそれがとっても励みになります。今は何とか自分にできるペースで続けていこうと思っております。なんとかよろしくおねがいします。

りえこ

2010年5月からボランティアメンバーとしてお手伝いさせていただいています。それまでは専業主婦でボランティアと言えば子供の学校だけでしたが、東日本大震災の映像を生中継で見て以来、「日本人として何かしたい」という気持ちが強くなり応募したのがきっかけでした。個人的には留学経験がなかったので、日本人留学生の皆さんがどのような悩みを持っているのか最初は見当もつきませんでした。トレーニングで移民法や精神衛生に関して現役の弁護士さんやソーシャルワーカーの方達から様々なことを学び、軽い気持ちで悩み相談を受けてはいけないと思い知らされました。また、実生活にも役立つ「心で聴く」ということも毎回実践していきたいと思っております。微力ですが、ロサンゼルスに住む日本人の一人として、日本人コミュニティに貢献できれば嬉しいです。 ML